

人気の活イカ釣りに長蛇の列

なかどまりイガ米～きてけフェア

町の特産品などを通して魅力を発信するイベント「なかどまりイガ米～きてけフェア」が、2月9日(出)～11日(祝)の3日間、青森県観光物産館「アスパム」で行われ、多くの旅行者や買い物客が訪れました。

今回のフェアには、町内から特産物販売をする13団体が参加。取材した2日目は、天気がよかったせいもあって、駐車場に車が入りきれないほどの大盛況でした。

また、このフェアの恒例で人気イベントである「活イカ釣り体験」も開催。多くの親子などが長蛇の列を作り、釣り上げた子どもをカメラで撮影する光景が見られました。



冬でもビーチのような歓声

ビーチボールバレー大会

冬の体力維持にと2月3日(日)、小泊小体育館でビーチボールバレー大会が行われました。

今年は12チーム49人が参加した同大会。参加者も中学生から高齢者までさまざまです。準備運動のあと行われた大会では、滞空時間の長いビーチボールということもあり、さまざまな好プレー・珍プレーが続出。プレーヤーだけでなく、見物客からも歓声と笑いが交錯し、盛り上がった大会でした。

■成績 優勝…アタックNo.4 / 2位…アタックNo.1
3位…アタックNo.2 / ブービー賞…小泊婦人会



武田の冬を盛り上げろと開催

初の「武田新田冬まつり」

地区の発展や交流を図ろうと2月17日(日)、つがるにしきた農協武田支店の2階で、今年が初開催となる「武田新田冬まつり」が行われました。

このまつりは、冬も元気に武田地区を盛り上げようと、自治会有志が作る実行委(委員長・今久雄)が開催。中里横笛愛好会や健康ダンス「べえ子ちゃん」、よさこいグループ「夢幻天舞」、津軽相撲甚句会のほか、歌手の歌や手踊りなど、本当に多くの芸能を披露。集まった約150人の観客は、さまざまな催しを堪能し、出演者から元気を分けてもらっていました。



広告

この社会あなたの税がいきっている

西北五税務関係団体協議会は、税知識の正しい理解と普及、納税道義の高揚を目的として、右記の団体で構成されています。

- ・五所川原商工会議所
- ・西・つがる商工会連絡協議会
- ・北五地域商工会ブロック会
- ・東北税理士会五所川原支部

- ・五所川原税務署管内 青色申告会連合会
- ・社団法人五所川原法人会
- ・五所川原間税会

- ・五彰会
- ・北五小売酒販組合
- ・鱒ヶ沢小売酒販組合
- ・五所川原税務署管内 農業青色申告会連合会

西北五税務関係団体協議会

所得税と贈与税の確定申告は3月15日(金)まで、個人事業者の消費税及び地方消費税の確定申告は4月1日(月)までです!

冬のアスパラ「甘〜い!」

武田小6年生が佐藤さん農園で収穫体験

冬の農業としてアスパラガス栽培を行っている佐藤イネ子さん(薄市地区)が、1月30日(木)自身の農園に武田小6年生を招き、収穫体験を行いました。

この日訪れた児童17人は、佐藤さんから冬に栽培する方法や、廃油ストーブのこと、給食にアスパラガスを提供していることの説明を受けました。「アスパラガスに春が来たと勘違いさせている」と聞き、子どもたちは興味深げに話を聞いていました。そのほか、アスパラガスを摘み取る体験や、機械での選別、皮むきなどを行い、最後に収穫したものをストーブであぶって試食。特に、冬のアスパラは糖度が高いようで、子どもたちはおいしく食べているようでした。

体験に参加した三上由生奈さんは「冬なのに、ストーブを焚いて大切に育てているのがすごい。甘くておいしいアスパラガスだった」と驚いていました。



子どもたちの安全願って寄贈

中泊自動車組合が町交通安全対策協に

この4月から小学生になる子どもたちのために2月26日(火)、中泊自動車組合(組合長 竹内寛)が安全反射シールを寄贈しました。

このシールは、町交通安全対策協議会が毎年新1年生児童に配布している黄色い安全帽と一緒に、ランドセルに貼ってもらおうとしたもので、同組合が児童の安全のために寄贈しました。帽子に貼っておくと、車のヘッドライトが反射し、夜でも発見しやすくなります。

贈呈を受けた町長は「大変ありがたい。安心して通学できるよう子どもたちに配布したい」と感謝していました。



広告

債務整理・過払い金請求・自己破産・個人再生

借金の悩み、ご相談下さい。

「法人の倒産手続きにもご対応致します」

「過払い金返還請求します」「完済案件は着手金無料」

【着手金は分割払い可】(1社18,900円)【成功報酬は後払い】

ご家計の収支状況を伺いつつお支払方法を極めて柔軟に決定しています。

- 借金を減額した上で、元金のみ分割払いを目指します。
- 過払い金返還高額目標
(書類なし、記憶が曖昧でも大丈夫!無料で調査)
- ご依頼者のプライバシー厳守 ●費用分割払いOK

弁護士 中島賢悟 東京弁護士会所属登録番号34985号



3月15~17日頃、津軽地域
相談会開催予定です。
詳細はお問い合わせ下さい。

まずは
お電話
下さい

0120
FreeDial

0120-113-314

ご予約受付時間
平日・土日祝日/10:00~20:00

セキュアトラスト法律事務所

東京都渋谷区渋谷1-8-3 TOC第一ビル5F TEL.03-5774-1521(代表) Mobile http://saimu0.net (24時間受付)

男女の出会い結びつけるには

出会いサポーター活動協議会を開催

あ おもりに出会いサポートセンター主催の「出会いサポーター活動協議会」が2月13日(水)、中央公民館で開催され、13人が参加しました。

同センターは、結婚を希望する県内の独身男女を応援しようと県が少子化対策の一環として行っているもので、「出会いサポーター」は、地域の独身男女の結婚・出会いの相談や世話役となる活動をボランティアで行うものです。

出席者は、自分の体験談などを話し、また、今どきの結婚事情を学ぶ機会となったようです。



グリーン・ツーリズム実地で体験

弘前大学生が町内各地で

地域のグリーンツーリズムの現状・実態を肌で体験しようと、2月16日(土)～17日(日)の2日間、弘前大農学部の学生6人と藤崎准教授が、各地で体験を行いました。

訪れた一行は、ふれあいセンターで汁、カボチャスイーツづくりや、田茂木地区の葦ガヤ工場見学、薄市地区のアスパラ収穫といったメニューを体験しました。

最後は、グリーン・ツーリズムの会「かけはし」の会員に教えられながら、駅ナカにぎわい空間で工芸品づくりも体験。葦でインテリアを作り、参加者は喜んでいました。

更生保護の意義知る機会に

鈴木青森保護観察所長が講演

更生保護の役割を改めて知ろうと2月7日(木)、パルナスで講演会が開かれ、町の保護司・更生保護女性会の会員など45人が参加しました。

この日の講演は「更生保護活動について」と題し、法務省青森県保護観察所長の鈴木道行氏が講演。県内での更生保護活動発祥や、女性の特性を活かした活動が、地域で重要な役割を果たしていくという内容で、参加者はメモを取りながら熱心に聞いていました。

菊池更生保護女性会長は、今後も犯罪や非行のない地域社会を築くため、仲間を増やそうと呼びかけていました。



広告

～北海道・東北の山奥深い沢地に自生する幻の山菜～
中泊町小泊特産 “行者にんにく”入り商品

権現パワー
【ドリンク】

三升漬
【漬物】

行者にんにくは、滋養の食品。毎日の健康のため、行者にんにくの成分【硫化アリル】パワーをお試しください。

お問合せは
(株)小泊うみどりむ振興社
☎0173-64-3942

広告

お得な旅行情報はホームページでチェック!!

旅行屋

お電話ください！
地元出身の営業マンが自宅・職場へ伺い
旅行の行程・見積を無料で作成いたします。

株式会社 旅行屋
青森市安方 2-17-11 青森日商連安方ビル 2F
総合旅行業務取扱管理者 長利 忍

TEL.017-776-3434
FAX.017-776-3440
メール osari@ryoko-ya.com